NO.22 2013. 7.10

歴史ロマン古道ニュース

【発行】歴史古街道団
ホームページ http://rekkodan.a.la9.jp/
事務局 〒252-0307 神奈川県相模原市南区文京1-5-19 エクメーネ304
歴史ライフ総合研究所内 宮 田 太 郎
本 部 〒206-0013 東京都多摩市桜ヶ丘1-40-6
（お問い合わせ・郵便は、上記の「事務局」宛にお願い致します。）

“古街道フットパス” ～心躍る小さな旅～

―― ニッポンを辿り・知り・遊ぶ 至高の歴史ライフのすすめ ――

人間の営みがあるところなら、どんなところにも必ずあるもの？――それは「道」ではないでしょうか。現在日本には限界集落（高齢化と過疎に悩む集落）というものが3700箇所以上もあるといわれています。そうした地域にも人の暮らしが育んだ尊い歴史とそれを刻んだ「道」は存在しているはず。集落内の往来道も裏山の尾根を通って畑に行く道も古くなれば「古道」となり、また地方と地方を結んだ旧街道や古街道も近くに通っていたことでしょう。

永い時を重ね道の上で展開された様々な記憶は、掛け替えのない国民財産です。

そこを私たちが実際に歩き辿るとき、なぜだか励まされたように元気になってくるから不思議です。それは人々のたくましさや優しさ、知恵や社会との調和、心温まるヒューマンストーリー＆ドラマを体感できるからです。

熊本・美里町の棚田

何気ない日常風景の中にこそ、様々な先人たちの尊厳に満ちた命の花の輝きが隠れているものです。

「歴史は知識や学問ではない。現代人を励まし応援する先人たちからの贈り物」――各地の古道を探求する日々の中で、今も変わらずそれを思い続けるとき、感謝の心で満たされます。全国各地の里で眠りかけた歴史ロマンを知り、地域の人々といまこの時に交流し生活空間を楽しむ“歴史フットパス”“古街道フットパス”は、地域を元気にするばかりか、自分自身の中の好奇心や魅力をも再発見することができる楽しい世界・心躍る小さな旅なのです。

歴史古街道団では、各地の歴史ストーリーを“歴史＆古街道フットパス”として反映させ体感できるコースづくりを、今年からさらに進めていきたいと思います。

新シリーズが始まります!!

■ 東京23区内と神奈川・埼玉の「奥州古道」を探索

東京の若者の街・原宿の駅前はオリンピック橋付近からラフォーレにかけて、一連の高台になっています。そこはかつて戦前まで「源氏山」と呼び慣らわされていた丘だったのです。かつて平安時代末期に八幡太郎・源義家らが軍勢を休め勢揃いした丘や奥州古道・鎌倉街道があったことはすっかり忘れられています。

有名な原宿の「竹下通り」の名は渋谷氏に関連？する源氏山の武士の館（たて）の下の沢地に沿う小道であったのでしょうか。各地に時折みられる「竹の花」地名が「館の鼻」であるといわれることと同様に考えると、はるか昔が見えてきて興味がわいてきます。

童謡「春の小川」のモデルとなった一支流である渋谷川に沿う丘には幾つか「鍵の手式の小路」の痕跡も見られます。千駄ヶ谷に近いお寺の前の坂は八幡太郎の「勢揃い坂」があり八幡太郎の御座石もあります。これらはここに奥州へ続く大道があったことを教えてくれています。すなわち東京の地下には「江戸の町」ばかりが残っているのではなく、さらに古い平安時代や鎌倉時代の武蔵国の道や遺跡が豊富に眠っているはずなのです。

箱根から東北地方へ――今年の秋からは“奥州古街道”をご一緒に探っていきましょう。

■ “九州熊本の古代遺跡” 探索ツアー＆フットパスウォーク

肥の国・熊本は九州のいわば中央。全国でも最も早く弥生文化が発展したのは大和ではなく九州であったことは豊富な遺跡から見えてくる事実です。続く古墳時代には独特な装飾古墳や石像を伴う古墳群も造られ、独自の文化圏を形成してきました。日本人のルーツ、列島西域の古代を知る上でとても面白く興味尽きない地方です。

熊本県下益城郡の美里町では、2011年に団長・宮田が歴史講演をさせて頂きました。

テーマは「九州のゴールデンクロス（黄金の十字路）・美里」。ここから北には福岡が、南は鹿児島、西は天草、東は日向・

高千穂があり、美里は正に十文字に交差する歴史古道の中心に当たり、まだ見つかっていない最古の肥後国府跡も、ひょっとしたら美里から熊本市街地にかけてのエリアにあるのでは――というロマンをお話ししました。実際に地図から見えた興味深きエリアの中心は「下益城郡城南町の今古野・吉野山一帯」。ゴールデンクロスであるが故の古代遺跡が眠る可能性を求めて、講演後に九州全域にフットパスを広められている美里町フットパス代表の浜田さん一行と現地踏査致しました。その結果、見晴らしの良い高い丘の上に大量の古代土器が散布しているのを確認。さらに周辺にはかつて古代軍団がいたこと、緑川を挟んで真北に熊本城や熊本の中心市街地を見渡すことができるなど、素晴らしき歴史景観を知ったのでした。

手作りの流しそうめんを楽しむ
元気な地元のお年寄りたち

美里町は決して大きな町ではありませんが、今や九州フットパスの先駆けとして、また中心として精力的に活動されております。今秋はここ美里町で「全国フットパス大会2013」が開催されることになりましたので、古街道団の独自の古代遺跡見学と合わせたツアー企画を立てました。皆様の振るってのご参加をお待ちしております。

『九州熊本の古代遺跡とフットパスウォーク・ツアー』 11月8日(金)～10日(日) 2泊3日

いよいよ今年の秋、古街道探索は九州編が始まります。防人の到達先でもあった九州を知ることの意義は大きいものがあります。熊本県下益城郡の美里町では、昨年より歴史古街道団も会員となった日本フットパス協会（町田市観光コンベンション内に事務局）の全国大会が実施されます。今回はそれに合わせ古街道団で企画して前日から古代遺跡探索を楽しみます。この機会にぜひ九州の古代世界を堪能しましょう。

【内容】古代遺跡が豊富な九州は、朝鮮半島や中国との交流が盛んに行われていた地域。国内で最も早く弥生時代の文化も入ってきた九州では各地で貴重な遺跡が次々に発見されています。また阿蘇山の山麓である熊本一帯は美しい装飾古墳群でも知られ、九州島の中央にあって独自の古代文化圏が形成され、特に九州の古代道路の十字路（ゴールデンクロス）にあたる重要な位置にあたります。ここでは今年の秋に、英国からやってきた「フットパス=歴史・文化・自然に彩られた人間の暮らしの小径を歩いて楽しむ」の全国大会が初めて熊本県美里町で行われます。各地から道を歩くことをこよなく愛す人々が集結するこの記念すべきイベントに参加し、大自然を満喫するフットパスと「肥後古代の森」（菊池・菊鹿・山鹿・鹿央・菊水の5地域で形成）を巡る壮大なロマンツアーを企画いたしました。 新たな仲間づくりにもなるこのツアーにぜひご参加ください。

【コース】〔予定〕※1部変更の場合もあります
○1日目（11月8日）=羽田空港～熊本空港～菊池神社など～古代山城・鞠智（キクチ）城～八角型鼓楼～恩故創生館など～宿泊（熊本市内）　○2日目（11月9日）=装飾古墳群（オブサン古墳、チブサン古墳）～岩原古墳群～県立装飾古墳館～江田船山古墳～トンカラリン～ホテル　○3日目（11月10日）=美里町フットパス・ウォーキングに参加（石造りの美しい橋群や絶景の棚田で知られる美里町の大自然を満喫）～熊本空港～羽田空港（19時頃着予定）

【参加費ほか申し込み方法など】9月末頃からチラシやHPでご案内致します。 参加ご希望の方はお早めに歴史古街道団事務局または運営委員まで直接お申し込み下さい。

宮田太郎団長と行く ロマン探索ウォーク

《申し込み不要　当日受付　雨天中止　宮田 携帯 090−7002−3431》

日帰り探索ウォーク　“武相国境線”の謎を探る 最終回

『池子の弥生人が歩いた鷹取山と金沢湾の野島』 2013年 9月23日(月・祝)

【内容】2012年4月5日に東名高速道路の横浜ICにほど近い「南町田」から始まった武相国境シリーズも遂に最終回（第11回）となります。これまで毎回たくさんの皆さんに参加して頂きましたこと、厚く感謝申し上げます。これまでは展望の良い尾根の左には東京湾、右手には相模湾を眺められましたが、朝比奈から先である今回は、大きく「し」の字型にカーブして東方向に進み、同じ東京湾内にある金沢湾と横須賀湾を左右に見ることになります。弥生人たちの村が発見されている逗子・池子の裏尾根には、横浜市と逗子市と横須賀市の三市が接する山もあり、彼ら古代人も海を眺めたであろう奇勝・鷹取山も歩きます。

【コース】京急本線「追浜駅」改札口前に午前10時集合～路線バスで10分間～湘南鷹取センター～鷹取山～池子弥生人の展望尾根～三市境界の高台～六浦スポーツ広場（小休）～国境尾根～追浜駅周辺で自由昼食～法福寺と雷神社～六浦東1丁目の国境古道～夕照橋～野島の古代測量地点と野島公園展望台～旧伊藤博文別荘。解散後は金沢シーサイドラインモノレールで5分間～京急金沢八景駅。約5キロ。解散は15時30分頃。

日帰り探索ウォーク　新シリーズ“関東の奥州古道を探る”第1回

東京・原宿の“源氏山”と奥州古道 2013年 10月18日（金）

【内容】京都と東北地方（奥州）を結んだ古代～中世の奥州古道には数条があり、国府・府中を通る東西路（～町田市小山田～多摩市～府中～人見街道～杉並区成宗または大宮～埼玉県川口市～）と、府中を通らない南北路（川崎市平間または武蔵小杉～洗足池～渋谷～原宿～千駄ヶ谷～王子飛鳥山～）の2ルートがメインでした。
新スタートの「奥州古道シリーズ」第1弾は、東京の明治神宮の入口にかつてあった謎の「源氏山」から春の小川・渋谷川を辿り千駄ヶ谷に向かいます。

【コース】JR山手線「原宿駅」公園口前に午前10時集合～オリンピック橋と源氏山～水無橋と古街道～源氏山と館（たて）下=竹下の小道（竹下通り）～東郷神社～旧渋谷川穏田橋と表参道（複数の飲食店で自由昼食）～穏田水車跡～勢揃い坂～鳩ノ森八幡宮～千駄ヶ谷駅。
約6キロ。解散は15時45分頃。

★来年の秋までのこのシリーズでは、前半は東京23区を中心に奥州古道跡と源氏伝説地を追跡、後半は埼玉県・神奈川県・多摩地方の道を織り交ぜて探っていきます。ぜひご参加下さいませ。

日帰り探索ウォーク　“関東の奥州古道を探る②”

渋谷の金王丸八幡宮と奥州古道　2013年 11月12日（火）

【内容】湘南の茅ケ崎や鎌倉は源氏伝説が集中するエリアですが、北上した奥州古道は多摩川を北に渡り品川区の洗足池付近から代官山を経て渋谷駅の南方の並木橋へと続いていたと推定されます。今回は渋谷氏伝説の道を奥州古道の視点に立って、東京の渋谷界隈を探っていきます。

【コース】JR渋谷駅南口のモアイ像前に午前10時集合～渋谷川と跡～金王八幡宮と稲荷神社東福寺～奥州古道～氷川神社～明治通り（複数の飲食店で自由昼食）～山手線を越える奥州古道～猿楽遺跡公園～猿楽塚古墳～岩倉邸跡～目黒川～東急線「中目黒駅」。約6キロ。解散は15時45分頃。

日帰り探索ウォーク　“関東の奥州古道を探る③”

新宿御苑と抜弁天の奥州古道　2013年 12月21日（土）

【内容】新宿御苑の中には渋谷川の源流があり、江戸時代に防衛のために甲州街道に設けられた大木戸に沿うように湧き出し、渋谷方向へと流れていたようです。奥州古道はそれに沿い、今の西洋庭園付近で渡り、新大久保や高田馬場の方向へ続いていました。今回は新宿6丁目付近を通過する推定路を探ります。

【コース】JR中央線「千駄ヶ谷駅」改札口前に午前10時集合～新宿御苑の西洋庭園～多武峰神社と駿馬塚～下・中・上の池～甲州街道～太宗寺～複数の飲食店で自由昼食～新宿中学校の奥州古道～天神山遊園と西向天神社～文化センター通り～抜弁天厳島神社～戸山の箱根山～尾張徳川家下屋敷跡の水脈～穴八幡宮～地下鉄東西線「早稲田駅」。約5キロ。解散は15時30分頃。

宮田団長の座学講座

夏は涼しい部屋で楽しく学びましょう！ 今夏も充実が満載です。奮ってご参加下さい。

2013年 7月20日（土） 伊豆の三島神と古代遺跡の謎

【内容】伊豆国府近くにある三島大社の主祭神である三島明神は、おお大山祇神（おおやまつみ）や事代主命を合わせた神ではなく、実際は伊豆白浜に三宅島から移った海洋民族のリーダーであり、南伊豆一帯を押さえていた弥生～古墳時代頃の独自の文化圏の存在が考えられます。白浜神社の火達祭や須崎の夷島の烽火台遺跡こそ、伊豆七島それぞれにいた妻子や同族との合同祭りの合図であり船を呼び込む灯台の役目をしていたのではないでしょうか。150万年前からの火山活動の痕跡であるジオパーク資源の神秘の中に重なった伊豆神話が織りなす壮大な歴史ストーリーと遺跡についてお話しします。

2013年 8月24日（土） 富士五湖・秦始皇帝の使い“徐福”伝説

【内容】富士山麓の古代世界は溶岩流の中に埋まってしまっているのでしょうか。古くから富士吉田・河口湖周辺には、秦の始皇帝の命令で不老不死の妙薬を探しに日本に来た徐福方士と一行の伝説が豊富に残っています。古い伝説ならではの脚色もありますが、なぜこの地方にそのような話が広く伝わっているのかという大事な探究が大切です。そのロマンの地の魅力に迫ります。

7月20日 8月24日　両日とも

【時間と会場】多摩市関戸公民館8階大会議室（京王線・聖蹟桜ヶ丘西口から徒歩3分。OPAビル8階VITA内）14時～16時

【申し込みその他】　申し込み不要、当日受付先着順90名。【参加費】 団員：700円　一般：1,000円

宮田団長と行く主な旅・座学講座のご案内

＊日帰り講座・ウォークは含まれません

- 8月22日（木）座学講座『新視点！伊勢神宮の謎～天照大神と太陽信仰の遺跡～』　主催：朝日カルチャーセンター湘南
- 8月23日（金）座学講座『箱根山と足柄山の謎～足柄古道・真実のルートはどこか～（仮題）』　主催：クラブツーリズム街道あるき（担当・角田）
- 8月29日（木）座学講座『東北エミシ古道とアテルイの砦』　主催：朝日カルチャーセンター新宿
- 9月4日（水）、日帰りバスツアー（同じ内容で2回開催）
  5日（木）『足柄峠を越えた真実の“古代東海道”痕跡探索』　主催：クラブツーリズム街道あるき（担当・角田）
- 9月7日（土）座学講座『みんなで歩けばフットパス ～東京湾古代の海の歴史ストーリー～』　主催：クラブツーリズム街道あるき（担当・角田）
- 9月26日（木）2泊3日の旅
  ～ 28日（土）『北海道アイヌ古道探検と義経北行伝説を探る（富良野～えりも～十勝編）』　主催：クラブツーリズム街道あるき（担当・角田）
- 10月9日（水）
  ～ 11日（金）『東北アテルイの古街道を探る』　主催：NHK学園国立本校（担当・遠藤）
- 10月24日（木）2泊3日の旅
  ～ 26日（土）『丹後国・アマテラス大神の元伊勢と渡来人伝説』　主催：クラブツーリズム街道あるき（担当・角田）
- 10月28日（月）
  ～ 30日（水）『東北エミシ古道を探る　～坂上田村麻呂とアテルイの砦』　主催：朝日カルチャーセンター事業部＆郵船トラベル（担当：曽根）
- 11月8日（金）2泊3日の旅
  ～10日（日）『九州熊本の古代遺跡とフットパスウォーク・ツアー』　主催：歴史古街道団　＊前記2Pの案内を参照
- 11月28日（木）2泊3日の旅
  ～30日（土）『出雲大社と古代出雲国の遺跡を探る』　主催：クラブツーリズム街道あるき（担当：角田）

お問い合せ

◎クラブツーリズム　街道あるき　☎03-5323-6681
◎朝日カルチャーセンター湘南（藤沢）　☎0466-24-2255
◎郵船トラベル　☎03-5213-6237
◎朝日カルチャーセンター事業部（新宿）　☎03-3344-2041
◎ＮＨＫ学園　駅前本校　☎042-574-0570

ガイドリーダーと行く史跡探索！

※ 参加費　団員 500円（ご夫婦は二人で700円）一般は一人700円
事前申し込み不要。当日現地にて受付。雨天時は中止(次週に順延の場合あり)。 昼食(弁当)・飲料・敷物・雨具等ご持参下さい。
実施要領は、チラシまたはホームページにてご確認ください。

蛇より行事見学 －稲城百市村の妙見尊－

2013年 8月7日(水) ガイド▶▶ 須知正度(団員)
連絡先 / 須知 正度　☎090－3695－7580

【内容】稲城市百村の妙見尊で、毎年8月7日に蛇より祭が行われます。この祭は、江戸時代初めの寛文2年（1662）から始められ、北斗七星になぞられた百村の旧村民の中から選ばれた7名が、萱場から萱を刈り取り、これを奉賛会会員が集まって長さ100～150m程の大蛇の形に撚り上げ、妙見尊下の鳥居から石段に沿って安置するという行事です。
稲城百村の奇祭!奮ってご参加を !!

【コース】京王相模原線稲城駅改札口集合（13:30）～妙見尊･妙見寺（17:30頃迄）
確定の行程等は、チラシとHPでお知らせします。

穴澤天神社の江戸里神楽と獅子舞の見学および稲城の散策

2013年 8月25日(日) ガイド▶▶ 進藤重孝(団員) 横田泰次(団員)
連絡先 / 横田泰次 ☎090-8516-3041

【内容】　稲城市矢野口の穴澤天神社の江戸里神楽と獅子舞は、毎年8月の例大祭日に奉納されます。
　神楽は古代に発生した芸能。民俗芸能の中では最も古い歴史を持つと言われる。その起源は神霊を慰めるために演じられ、神に捧げる神事舞でした。この神楽がいくつかの流派を生み各地に広まり、江戸時代初期には江戸市中に伝わって、様々に変化して演じられました。現在、東京都内には四つの江戸の里神楽が伝承されており、稲城の山本頼信社中がその一つで、室町時代初期の応安6年（1373）3）創始と伝えられています。
　獅子舞の由来は、江戸時代中頃の安永4年（1775）以前に遡るとされ、獅子の構成は三頭で、大［おお］獅子、求［きゅう］獅子、女［め］獅子です。これら3頭の獅子は、武州御嶽の神、相州大山の神、鎮守青沼の神をかたどるといわれます。獅子といっしょに踊る天狗も登場します。稲城市内では、矢野口(穴澤天神社)、東長沼(青渭神社)、百村(竪神社)、大丸(大麻止乃豆乃天神社)の4か所に三匹獅子舞が伝えられましたが、現在は矢野口と東長沼だけで行われる極めて珍しい伝統行事です。
　近隣には、延喜式内古社や仏閣が多く、古代道（武蔵国衙道）や鎌倉道が通り、興味深々の地域です。
　珍しい伝統行事見学と周辺の歴史散策に奮ってご参加を!

【コース】京王相模原線稲城駅改札口集合（9:30）～武蔵国衙道（推定通過地）～長沼城址～常楽寺～鎌倉道（推定通過地）～妙覚寺～ありがた山～威光寺～穴澤天神社（13:30頃、江戸里神楽、獅子舞見学）～解散（18:00頃）の予定。
確定の行程等は、チラシとHPでお知らせします。

ー市史から読み解くー 武蔵国府と大国魂神社の成り立ち

2013年 9月20日(金) ガイド▶▶ 佐藤文俊(団員)
連絡先 / 佐藤 文俊　☎042－373－3193

【内容】ここ府中崖線の縁辺に立つ武蔵国の大社「大国魂神社」は、在地豪族･无邪志国造（むざしのくにのみやつこ）の祖、兄多毛比（えたもひ）が景行41年（111）、北天を祭祀したのが起源と社伝に記されている。8世紀の初頭には、ヤマト政権によって蝦夷攻略と律令国家における地方行政の拠点として、この地に国府が開かれ、神社境内に国衙（役所）が設けられた。
　今回は、これら太古から残る事跡の数々を訪ね、古代人の信仰形態や何故この地が武蔵国府の設置場所に選ばれたのかを、府中市史や江戸名所図会、新編武蔵風土記稿などを参考に皆さんと探ってみたい。

【コース】「分倍河原駅」南側ロータリー　新田義貞像前10:00集合～弁慶の硯の井～秀郷稲荷～高安寺～下河原緑道～坪の宮～国司の館跡～御殿地～善明寺～府中歴史館～源義家像～昼食（府中駅前にて自由昼食）～宮乃咩(みやのめ)～武蔵国庁跡～随身門～大国魂神社本殿～安養寺～妙光院～神社裏遺跡～妙顕大善神～天神社（あまつかみやしろ）～京所（きょうず）通り～普門寺～国府八幡宮～鳩林荘～東京競馬場（井田是政の墓、縄文･弥生の遺跡群、定光寺跡）～「東府中駅」16:00頃解散（歩行距離 約7.0km）
（当日雨天の場合は次週27日（金）に順延　都合によりコース変更の場合有り）

御殿峠の古道を歩く

2013年 10月26日(土) ガイド▶▶ 木村　進(団員)
連絡先 / 木村　進　☎090－5993－0728

【内容】築城者も廃城の時期もよくわかっていない謎の城･片倉城、鎌倉時代から戦国時代にかけて将兵･軍馬が駆け抜けたであろう古道を歩きます。この道は鎌倉街道山ノ道の一本であり、戦国時代、小田原城と八王子城との重要連絡路でもあり、宮田団長の著書「鎌倉街道伝説」では武田信玄小田原攻めの進撃路としてとりあげられています。開発を免れた多摩丘陵の原風景の中を歩きます。

【コース】京王高尾線 京王片倉駅改札口　10時集合―片倉城址―丘陵頂部の平坦畑―森の中の古道―みなみの大橋―ファミレス昼食―御殿峠―御殿峠古道―青木屋敷―JR相原駅　解散（午後3時頃）

好評！月例ウォーキング　多摩よこやまの道を歩こう！

【内容】毎月定期的にミニ･ガイドウォーキングとして実施しています。「よこやまの道」は多くの古道と重なり交叉し、それらの痕跡や伝説も多く、古道や歴史に関心のある方々に愛好されています。また、里山の自然が残っており、四季の移り変わりを楽しめます。野鳥や植物観察もしながら、この豊かな道を歩き･感じ･味わってみませんか?
下記の東･西2コースを隔月交替で、毎回、行程を変えて歩きます。ガイドが伝統行事や「数」の謎解き、季節の万葉歌朗詠･解説も行います。

● 参加費 / 団員300円、一般500円　　● ガイド：須知正度（団員）（連絡先 ☎090－3695－7580）

【東コース】

□ 7月14日、9月８日　京王相模原線若葉台駅　9:00集合
□ 11月4日　京王相模原線若葉台駅　9:30集合

コース1 丘の上広場～防人見返りの峠～並列古道跡（古代東海道跡）～古道五叉路～別所桜並木～京王多摩車庫方面へ

コース2 丘の上広場～天王の森～白山神社～旧多摩聖蹟記念館～聖蹟桜ヶ丘駅方面へ
（または、天王の森～上谷戸～稲城へ）

【西コース】

□ 8月11日　小田急多摩線唐木田駅　9:00集合
□ 10月13日、12月8日　小田急多摩線唐木田駅　9:30集合

コース1 唐木田駅～奥州古道(常磐ルート)～正山寺･鶴見川源流～長池公園経由京王堀之内駅へ（または、奥州古道～山王塚～尾根緑道～小山内裏公園～多摩境へ）

コース2 総合福祉センター～（奥州廃道）～小山田緑地～奥州古道(中尾道)～石仏群～京王多摩車庫方面へ
（または、小山田緑地～小野路城址～小野神社へ）

地域史懇談会

ウォーキング参加者や団員相互の交流をより一層図ろうと、昨年から2ヵ月に1回程度開催している「地域の歴史の情報交換会･学習会」です。この会合からガイドウォーキングの企画･実施や伝統行事の謎解きの試みなど、いくつかの成果が現れつつあります。

2013（平成25）年4月以降は、「よこやまの道」ウォーキング終了後に茶話会･飲み会を兼ねて気楽な形で、2ヵ月に1回程度、開催したいと思っています。

話題の基本テーマは、旧暦二ヶ月分の伝統行事から選んで、遅くとも開催1ヶ月前にお知らせします。参加の方にご自分の伝統行事に関する経験や感想をお話し頂く形で進めたいと思います。

ガイドウォーキングの企画や実施の検討、ほか学習したいテーマがあれば、**こちらを優先**して話題とします。**優先テーマを募集しています。奮ってご応募ください!**
よろしくお願いいたします。

■ 8月11日（日）13：00～　ジョナサン 多摩センター駅前店
参加費：資料代+飲食実費
テーマ：多摩丘陵の古道を学ぶ

■ 11月4日（月）15：00～　場所・テーマ未定

詳細は、チラシまたは歴史古街道団ホームページで告知いたします。
■お申し込み：当日　■お問い合せ：(団) 須知 ☎090-3695-7580

学習会

印旛沼における古墳時代の移民の足跡を探る

日時／10月12日（土）13:30～15:30
会場／多摩市関戸公民館 大会議室（VITA8階）
（京王線「聖蹟桜ヶ丘」駅西口から徒歩3分）
講師／田口 俊弥（団員）
会費／500円（一般700円）当日受付

【内容】白鳳時代の古寺で有名な龍角寺が存在する印旛沼周辺には、関西方面から来たと思われる人々の痕跡が残されています。
最新の現地発掘結果とこの地に残る伝承を交えながら、古墳時代　印旛沼にやって来た人々の謎に迫ります。

2013年度 定期総会 開催

2013年5月26日(日)午後1時30分より関戸公民館大会議室において、第9回定期総会が開催されました。団員総数145名のうち、当日出席者48名、委任状提出者38名、合計86名の参加により、総会は成立し、宮田団長を議長に選出し、当日提案の議題はすべて異議なく承認されました。

総会終了後2時45分より、宮田団長による「鎌倉大城郭！北鎌倉･山崎地区の鎌倉防戦遺構郡」と題した講演会が行われ、団長実地調査によりあきらかになった新知見が披露されました。

今年度の活動方針

1. 多摩よこやまの道の「歴史フットパスによる活性化」をはかる。
2. 団およびその前身である研究会などの過去の活動や研究のアーカイブ化に着手する。
3. 「歴史古道ウォークを核とした交流手法」をあらためて見つめなおし、世代を越えてより多くの人が参加･参入してくれるようなシステムについて再構築を目指す
4. 会員相互の交流、親睦、地域史情報交換会実施し、新規参加を増やし会員増加を計画する。
5. 本年9月小野路地区内にオープン予定「小野路宿通り観光交流センター」を基点とする古街道ウォーク事業への参加を推進する。
6. 「鎌倉古道･歴史遺産の会」の活動へ協力する。
7. 関戸･府中･町田までの一貫したウォークコースを、町田市観光コンベンション協会などと協力して完成に近づける。
8. 稲城南山地区に残る古道群を観光資源として活用する実践モデルを、稲城市観光課を軸とした歴史フットパス事業確立へむけて、支援体制を作る。

2013年度 運営委員

団　長	宮田 太郎	
副団長	藤田 一彦	
事務局長	須知 正度	
会計監査	濱野 千秋	
運営委員	麻生 直昭	遠藤 邦江
	斎地 カズエ	須永 洋子
	田口 俊弥	中村 敬子
	真壁 寿美子	八木原 杲子

団員のページ

ー 入団一年後の新人 ー

三好　孝典（団員）

歴史古街道団に入団して一年が過ぎました。

初めて活動に参加したのは、平成23年11月の「大山街道の長津田宿と伯楽谷戸の散策」でした。インターネットでホームページも見ていましたし、長津田で自宅からも近いので参加したのですが、ガイドさんと資料付きで非常にわかりやすかった。近くに住んでいながら歴史的にも「えぇぇっ」と驚くこともあり楽しめました。

二回目は、平成24年4月の宮田団長の“武相国境線”の謎を探る－①、「南町田～上川井～上瀬谷通信隊編」です。武蔵国、相模国等の知識はあまりなく、参加して初めて国境線が分水嶺と知りビックリしました。その後5月に入団手続きをし現在に至っています。

平成24年度の活動参加は、武相国境シリーズ、よこやまの道、講演会、ガイドウォーク、地域史懇談会、バスツアーと30回を超えました。活動の良いところは、予約なく参加できること、参加費が安いこと、いろいろなところへ行けること、木々、草花、野鳥、城跡等の詳しい人がいて勉強になること、時間が正確であること、散策する距離が丁度良い等です。

過去の歴史ロマン古道ニュースを拝見すると、「これは？」と興味を引くものもあり、人気のあったガイドウォーキングを再度開催してもらいたいと思っています。

最近感じていることは、事前学習の重要性です。今までは講演会、ウォーク等にただ参加して「そうかぁ」でしたが、歴史的な知識や場所・地形等の勉強をしてから参加すると、非常によく理解できます。三月のバスツアー「さきたま古墳群・忍城跡」は、行く前に「のぼうの城」を読み、帰ってきてから映画も見ました。

▲稲村ケ崎

◀洲崎古戦場碑

▲ 鎌倉中央公園

総会後の団長の講演会「鎌倉大城郭」でも、事前に洲崎古戦場と稲村ケ崎古戦場に行ってきました。鎌倉中央公園は、以前に行っているので説明や写真を見ても良く理解できました。団長もおっしゃっていましたけれど「行ってみなければわからない」ということが実感され、講演会後にもう一度行くと完璧だと思います。

私は、ゼネコンで土木技術者として道路作りをしてきましたが、古道に関しては、歴史の知識がなく、ガイドウォーク等でもただ漠然と見てきました。これからは土木の知識を活かし古道の幅員、方向、測量、地形・地質、工事方法他を考えながら歩き、勉強したいと思っています。

これからもよろしくお願いいたします。

歴史古街道団　団員募集中です!!

団員には、団主催行事参加費を割引、歴史ロマン古道ニュース（団報）をお送りします。
年会費は3,000円（4月より翌年3月まで。10月以降入団は1,500円）

お申し込み方法

郵便振替用紙に、「入団」とご記入いただき、御自分の住所・氏名も記入し、年会費をお振込みください。 ウォーキング参加時等に、団役員へお申し出いただいても、手続きをいたしますのでお気軽にどうぞ。

振込先　口座名：歴史古街道団
郵便振替口座番号：00140−7−445195

水源郷 津久井考 雑記

八幡邦彦 （団員）

丹沢の山々の叫び！

旧津久井4町と合併した相模原市。都市機構は旧相模原市であるが、風土や歴史・自然の面ではなんといっても津久井を知っておきたいという強い思いがあります。

自然豊かでいってみれば緑の砦といわれる山並みは素人眼には雄大なのであるが、聞くところによると自然の劣化は激しく、大気汚染によるブナやモミの木立枯れ、間伐や枝打ちが行き届かず下層植物の生育や雑木林の荒廃が進んでいるというとのことである。最近丹沢山中の鹿が里にまで下りてくるというのは、食糧としている下層植物が育たぬせいで民家にまで侵入するらしい。自然の摂理を狂わせた人間のせいといえるでしょう。

道志の水はどうなるの？

各地のダム行政の是非が世情なっていますが、神奈川県の水源事業は先覚的だったようです。相模川の源流　桂川が山梨県から神奈川に流入するポイントに、 我が国初の多目的ダムとして相模湖相模ダムが昭和22年に出来　さらに津久井湖城山ダムで仕切られ、中津川系では宮が瀬ダムが平成13年に完成、いってみれば神奈川県の水道の蛇口が3ケ所この地域に存在することになり、相模原市を横浜水道が横断しているのです。

さて道志川の渓流では昔は“鼻曲がり鮎”といって徳川のお殿さまに献上すべく江戸まで飛脚に載せて駆け上った“鮎の道”が有名です。この“鼻曲がり鮎”急流の中岩に付着している藻類を削りとって食べるところから鼻先の唇が膨らんでコブのように曲がっているそうであるが、最近はそんな鮎にはお目にかかれない。なぜならば道志ダムの建設で清流がなくなり、まして下流の津久井城山ダムで鮎の遡上する流れが絶たれてしまったのである。

このように道志の水、桂川・相模川の水も発電と利水の働き者で“川の流れ”を楽しんでいる暇はないのです。

伏馬田城は烽火台伝進基地

戦国時代に小田原北条氏の出城＝津久井城を中心に支城として旧藤野町に伏馬田城や奥牧野城がありました。奥牧野城は甲斐への出口を抑える最前線の砦であり、伏馬田城は道志川を眼下に甲斐への街道監視役の砦であったといわれています。甲州の武田氏との攻防は激しく繰り返されており、当時これらの支城は烽火台としての役割りでのろし火での信号で情報伝達していたようです。

“八幡宮”と“諏訪神社”

この津久井地区、神社で“八幡宮”と“諏訪神社”がやたらと多いのです。津久井44社中半分の22社がこの八幡宮と諏訪神社だそうで、諏訪社の位置が主要道路の道沿いや川沿いにあるのですが、八幡社は小田原北条氏の東国支配の政治理念もあり、各地の神社を八幡社として配置したようです。これは津久井地方は相模・甲斐・武蔵の国境いであり、こうした特徴が顕著に出ています。

津久井が消える！

津久井は相・甲・武の接点にあり、古くは奥三保といわれていた。さて津久井の地名については諸説があるが郷土史家の前川清次さんによると、鎌倉時代に相模国一帯で活躍した三浦一族（本拠は現在の横須賀市北下浦）が北相の宝が峰に築城、津久井氏の姓をとって城の名前にしたとの説があります。

一方街道としては現在の国道20号線沿いに吉野宿・与瀬宿・小原宿として歴史を有し、各々郷土気質とロマンをもちその地名にも愛着を感じるのであるが、このたびの政令都市移行で旧4町の名前が地図上から消えてしまいなんとも云えず寂寥を感じる。これ以上自然を破壊しない豊かな緑と川の流れを守りたい。

歴史古街道団予定表 （2013年 8月～2013年 12月）

※注（団）＝歴史古街道団 【宮田】＝宮田太郎ウォーク 【学】＝講演会・学習会 【ガイド】＝ガイドリーダーウォーク

月日	集合場所･時間	探索･学習テーマ	参加費	申込み	問合せ先
8月7日（水）	京王相模原線稲城駅改札口前 13:30	【ガイド】蛇より行事見学－稲城百市村の妙見尊－	団員:300円 一般:500円	当日	(団)須知 ℡090-3695-7580
8月11日（日）	小田急多摩線「唐木田駅」改札口前 09:00	【ガイド】定期ウォーキング、多摩よこやまの道を歩こう！西コース	団員:300円 一般:500円	当日	(団)須知 ℡090-3695-7580
	ジョナサン多摩センター駅前店 13:00～	【学】地域史懇談会: 基本テーマ;多摩丘陵の古道を学ぶ 優先テーマ;募集中	資料代＋ 飲食代実費	当日	(団)須知 ℡090-3695-7580
8月22日（木）	問い合わせ	【講】『新視点！伊勢神宮の謎 ～天照大神と太陽信仰の遺跡～』	朝日カルチャーセンター湘南		
8月23日（金）	問い合わせ	【講】『箱根山と足柄山の謎 ～足柄古道･真実のルートはどこか～(仮題)』	クラブツーリズム・街道あるき（担当・角田）		
8月24日（土）	関戸公民館8F大会議室14:00 聖蹟桜ヶ丘駅徒歩3分	【講】『富士五湖･秦始皇帝の使い“徐福”伝説』、講師:宮田太郎団長	団員:700円 一般:1,000円	当日	(団)宮田 ℡090-7002-3431
8月25日（日）	京王相模原線稲城駅改札口前 09:30	【ガイド】穴澤天神社の江戸里神楽と獅子舞の見学および稲城の散策	団員:500円 一般:700円	当日	(団)横田 ℡090-8516-3041
8月29日（木）	問い合わせ	【講】『東北エミシ古道とアテルイの砦』	朝日カルチャーセンター新宿		
9月4日（水）	問い合わせ (同じ内容で5日と2回開催)	【バス】『足柄峠を越えた真実の“古代東海道”痕跡探索 』	クラブツーリズム・街道あるき（担当・角田）		
9月5日（木）	問い合わせ (同じ内容で4日と2回開催)	【バス】『足柄峠を越えた真実の“古代東海道”痕跡探索 』	クラブツーリズム・街道あるき（担当・角田）		
9月7日（土）	問い合わせ	【講】『みんなで歩けばフットパス ～東京湾古代の海の歴史ストーリー～』	クラブツーリズム・街道あるき（担当・角田）		
9月8日（日）	京王相模原線若葉台駅改札口前 09:00	【ガイド】定期ウォーキング、多摩よこやまの道を歩こう！東コース	団員:300円 一般:500円	当日	(団)須知 ℡090-3695-7580
9月20日（金）	JR南武線･京王線「分倍河原駅」南側ロータリー 新田義貞像前 10:00	【ガイド】市史から読み解く『武蔵国府と大国魂神社の成り立ち』	団員:500円 一般:700円	当日	(団)佐藤 ℡042-373-3193
9月23日 （月・祝）	京急本線「追浜駅」改札口前10:00	【宮田】“武相国境線”の謎を探る⑪、『池子の弥生人が歩いた鷹取山と金沢湾の野島』	団員:700円 一般:1,000円	当日	(団)宮田 ℡090-7002-3431
9月26～28日 （木～土）	問い合わせ	【旅行】『北海道アイヌ古道探検と義経北行伝説を探る(富良野～えりも～十勝編)』	クラブツーリズム・街道あるき（担当・角田）		
10月9～11日 （水～金）	問い合わせ	【旅行】『東北アテルイの古街道を探る』	NHK学園国立本校（担当・遠藤）		
10月12日（土）	関戸公民館8F大会議室14:00 聖蹟桜ヶ丘駅徒歩3分	【講】『印旛沼における古墳時代の移民の足跡を探る』、講師:田口団員	団員:5 00円 一般700円	当日	(団)田口 ℡080-2037-6363
10月13日（日）	小田急多摩線「唐木田駅」改札口前 09:30	【ガイド】定期ウォーキング、多摩よこやまの道を歩こう！西コース	団員:300円 一般:500円	当日	(団)須知 ℡090-3695-7580
10月18日（金）	JR山手線「原宿駅」公園口前10:00	【宮田】新シリーズ“関東の奥州古道”を探る①、東京･原宿の“源氏山”と奥州古道	団員:700円 一般:1,000円	当日	(団)宮田 ℡090-7002-3431
10月24～26日 （木～土）	問い合わせ	【旅行】『丹後国･アマテラス大神の元伊勢と渡来人伝説』	クラブツーリズム・街道あるき（担当・角田）		
10月26日（土）	京王高尾線「京王片倉駅」改札口前 10:00	【ガイド】御殿峠の古道を歩く	団員:500円 一般:700円	当日	(団)木村 ℡090-5993-0728
10月28～30日 （月～水）	問い合わせ	【旅行】『東北エミシ古道を探る ～坂上田村麻呂とアテルイの砦』	朝日カルチャーセンター事業部＆ 郵船トラベル （担当：曽根）		
11月4日 （月・祝）	京王相模原線若葉台駅改札口前 09:30	【ガイド】定期ウォーキング、多摩よこやまの道を歩こう！東コース	団員:300円 一般:500円	当日	(団)須知 ℡090-3695-7580
	場所未定	【学】地域史懇談会: テーマ;未定	資料代＋ 飲食代実費	当日	(団)須知 ℡090-3695-7580
11月8～10日 （金～日）	調整中	【旅行】『九州熊本の古代遺跡とフットパスウォーク･ツアー』	団報22号本文参照		
11月12日（火）	JR山手線「渋谷駅」南口のモアイ像前10:00	【宮田】“関東の奥州古道”を探る②、渋谷の金王丸八幡宮と奥州古道	団員:700円 一般:1,000円	当日	(団)宮田 ℡090-7002-3431
11月28～30日 （木～土）	問い合わせ	【旅行】『出雲大社と古代出雲国の遺跡を探る』	クラブツーリズム・街道あるき（担当・角田）		
12月8日（日）	小田急多摩線「唐木田駅」改札口前 09:30	【ガイド】定期ウォーキング、多摩よこやまの道を歩こう！西コース	団員:300円 一般:500円	当日	(団)須知 ℡090-3695-7580
12月21日（土）	JR中央線「千駄ヶ谷駅」改札口前 10:00	【宮田】“関東の奥州古道”を探る③、新宿御苑と抜弁天の奥州古道	団員:700円 一般:1,000円	当日	(団)宮田 ℡090-7002-3431

編集後記

梅雨があけた途端に猛暑がやってきました。体調をととのえ、暑さに負けずに歩きましょう。

団報22号をお届けします。宮田団長のウォーキングは、武相国境シリーズが最終回を迎え、奥州古道シリーズがスタートします。よこやまの道、ガイドウォーク、学習会と、夏から秋にかけて興味深い行事が続きます。ご参加をお待ちしています。

編集責任:歴史古街道団（藤田）

【発行】 歴史古街道団

歴史古街道団 団長 宮 田 太 郎 TEL 090-7002-3431

事務局 〒252-0307 神奈川県相模原市南区文京1-5-19 エクメーネ304
歴史ライフ総合研究所内 宮 田 太 郎

ホームページ http://rekkodan.a.la9.jp/

印刷／東洋工業写真社 ☎ 042-773-2546